

2018年度の社会貢献活動について

公益社団法人リース事業協会

はじめに

公益社団法人リース事業協会（以下、協会という。）では、リース期間が終了したパソコンを会員会社から無償で提供を受け、整備しソフトウェアを搭載した上で、東日本大震災および各地の自然災害により被災した方々を支援している非営利法人や社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人、各地の特別支援学校へ寄贈する活動を行っています。

2018年度の活動では、東日本大震災の復興支援として10法人へ19台^{*1}、他の自然災害の被災地支援として14法人へ54台^{*1}、社会的な課題の解決に向けた非営利法人への支援として31法人へ31台^{*1}、特別支援学校への支援として14校へ28台^{*2}、合計132台を寄贈し、全国で活用いただいています（表1）。

2011年に本活動を始めてから2018年度までの寄贈数累計は1,676台となりました。

この他、会員会社の協力により各種物品の

寄贈を行う他、企業で使用されている封筒を特別支援学校へ寄贈し、作業学習などで活用いただいています。封筒は2018年度だけでも7万枚以上を寄贈し、全国の特別支援学校の作業学習で活用いただきました。

これらの活動は、リース業界全体の3R（リデュース[発生抑制]・リユース[再使用]・リサイクル[再生利用]）の推進にも役立っています。

本稿では2018年度に実施した協会の社会貢献活動についての報告と2019年度の活動計画をご紹介します。

※1 リース終了パソコンの寄贈活動に際しては、日本マイクロソフト(株)のシチズンシップライセンス（Windows10・Office2010）を活用させていただいています。

※2 リース終了パソコンの寄贈活動に際しては、日本マイクロソフト(株)のシチズンシップライセンス（Windows10）を活用させていただいています。

表1 2018年度リース終了パソコン寄贈実績

	寄贈先	寄贈台数
東日本大震災復興支援活動	10法人	19台
上記以外の自然災害の被災地支援活動	14法人	54台
社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人への支援活動	31法人	31台
特別支援学校に対する支援活動	14校	28台
総計	69	132台

1. 東日本大震災復興支援活動

[対象:被災3県(岩手県・宮城県・福島県)]

協会では、2011年に発生した東日本大震災に対する支援活動として、復興庁「被災者支援コーディネート事業」による被災現地との

マッチング作業を通じて、被災地域の復興および被災者・避難者に対する支援活動を行う非営利法人に対し、リース終了パソコンを寄贈し、法人の活動を支える支援を行っています。

復興庁の「復興の現状と課題」（平成31年4月）によると、被災地域の住宅再建は2018年度までに概ね完了し、高台移転による宅地造成や災害公営住宅の建設については、2020年度に全て完成見込みとなっています。一方、避難者数においては、災害発生当初の47万人から2019年に入り4.8万人へ減少したものの、福島県ではまだ4万人が避難している状況となっています。

農地の営農再開や水産加工施設の業務は再開できても、風評被害などによる売上の回復にばらつきがあることや、新たなまちにおける公共インフラ・コミュニティ形成、避難

指示解除区域での復興など、被災地域や被災者を巡る課題はまだ山積しています。

協会では2018年度に岩手県の3法人へ6台、宮城県の1法人へ1台、福島県の6法人へ12台、合計10法人へ19台のリース終了パソコンを寄贈しました（表2）。

パソコンを寄贈した非営利法人では、まちのブランディングや子育て、障がい者・児童生徒への学習支援などを行っており、地域住民へのパソコン指導や情報発信・事務作業の効率化を図るために寄贈パソコンを利用していただいています。

震災発生当初から8年が経過する中、支援を必要としている人々が、より見えにくくなっている現状で、更に細やかな被災者支援へシフトしていくことと、「支援者を支える活動」を継続していくことの重要性を改めて感じています。

表2 寄贈先法人

寄贈先法人名		活動拠点	寄贈台数
1	特定非営利活動法人みんぷく（郡山）	福島県	2台
2	NPO法人実践まちづくり	福島県	2台
3	特定非営利活動法人こそだてシップ	岩手県	2台
4	一般社団法人ISHINOMAKI2.0	宮城県	1台
5	NPO法人結人	岩手県	2台
6	特定非営利活動法人まゐむたかた	岩手県	2台
7	認定特定非営利活動法人カタリバ	福島県	2台
8	一般社団法人ふたすけ	福島県	2台
9	一般社団法人葛力創造舎	福島県	2台
10	特定非営利活動法人虹の架け橋	福島県	2台

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ 自治会役員が自ら必要な文書などを作るようにパソコン操作方法をレクチャーし、自治会主導での運営につなげていきたい。
- ▶ 40名前後の生徒が毎日利用する学習支援をおこなっているが、利用できるパソコンは2台である。
- ▶ この度は大変ありがとうございました。今後被災地の住民の笑顔を発信できるよう、大切にに使わせていただきます。

※寄贈パソコン応募時にいただいた情報により作成しました。

2. 自然災害の被災地支援活動

[対象:岡山・広島・愛媛・北海道]

2018年度は、大阪北部地震・西日本豪雨・台風21号・北海道胆振東部地震など、自然災害が相次ぎ、各地で甚大な被害が発生しました。

協会では、災害救助法が適用された災害のうち、多くの災害ボランティアセンターが設置された地域への支援を実施しました（表3）。

7月の西日本豪雨災害では、被災地域が広範囲にわたり、甚大な被害が発生しました。緊急支援として社会福祉法人中央共同募金会

へ20台のリース終了パソコンを寄贈し、各地の災害ボランティアセンターで活用いただきました。また、被災地域の社会福祉協議会9法人へ17台、社会福祉協議会と連携し被災者支援活動を行う非営利法人2法人へ3台のリース終了パソコンを寄贈しました。

寄贈したリース終了パソコンは、被災者の方々の見守り活動や生活相談、新たな地域コミュニティづくりなどを支援するために利用されています。

9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、緊急支援として社会福祉法人中央共同募金会へ10台のリース終了パソコンを寄贈し、

表3 寄贈先法人

	寄贈先法人名	活動拠点	寄贈台数
1	社会福祉法人中央共同募金会（西日本豪雨災害支援）	東京都	20台
2	社会福祉法人呉市社会福祉協議会	広島県	2台
3	社会福祉法人矢掛町社会福祉協議会	岡山県	2台
4	社会福祉法人東広島市社会福祉協議会	広島県	2台
5	社会福祉法人大洲市社会福祉協議会	愛媛県	2台
6	社会福祉法人笠岡市社会福祉協議会	岡山県	2台
7	社会福祉法人海田町社会福祉協議会	広島県	1台
8	社会福祉法人赤磐市社会福祉協議会	岡山県	2台
9	社会福祉法人三原市社会福祉協議会	広島県	2台
10	社会福祉法人中央共同募金会（北海道胆振東部地震支援）	東京都	10台
11	社会福祉法人宇和島市社会福祉協議会	愛媛県	2台
12	NPO法人シルミルのむら	愛媛県	2台
13	社会福祉法人安平町社会福祉協議会	北海道	2台
14	特定非営利活動法人えひめリソースセンター	愛媛県	1台
15	一般社団法人Wellbe Design	北海道	2台

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ 寄贈パソコンは、普段は地域福祉の増進に携わる業務に使用し、災害時用と明確に位置付けておくことで、有事の際に混乱を避けることが可能になると考えます。
- ▶ 何もかもが無くなり、このような時にパソコン寄贈のご案内をいただき、本当にありがたく思います。大切に使用させていただきます。
- ▶ この度は豪雨災害による甚大な被害に多大なご厚意をいただき誠にありがとうございます。温かいご寄贈に対し、深く感謝申し上げます。

※寄贈パソコン応募時にいただいた情報により作成しました。

各地の災害ボランティアセンターで活用いただきました。また、被災地域の社会福祉協議会1法人へ2台、社会福祉協議会と連携し被災者支援活動を行う非営利法人1法人へ2台のリース終了パソコンを寄贈しました。

災害ボランティアセンターでは、パソコンの不足から、社会福祉協議会の業務用パソコンを併用し、セキュリティなどの設定を変更しながら使用されることが多く、業務運営に支障をきたすなか、リース終了パソコンの寄贈は被災者支援活動の一助となることができました。

3. 社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人に対する支援活動

[対象：全国]

社会貢献活動を始めた当初から、念頭においている主な活動のひとつに「次世代支援」

があります。一見豊かに見える日本においても、子どもや若者を取り巻く環境は、経済的格差とこれに伴う貧困・教育問題など、多くの課題が山積しています。

協会では2017年度より、このような社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人に対する支援活動を開始しています。2018年度は「子どもの貧困」にフォーカスをあて、この社会問題を解決すべく活動を行っている非営利法人あての寄贈を実施しました。

「一般社団法人全国子どもの貧困・教育支援団体協議会」は「子どもの貧困」という問題に起因して、教育を受ける機会を失っている子どもたちの支援強化のため、日本各地で活動する教育支援団体をネットワーク化し、すべての子どもが夢や希望を持つことができる社会の実現を目指しています（全国子どもの貧困・教育支援団体協議会ホームページよ

表4 寄贈先法人（各法人1台寄贈）

寄贈先法人名		活動拠点	寄贈先法人名		活動拠点
1	一般社団法人あとろ技芸向上支援協会	岩手県	17	特定非営利活動法人ユースコミュニティー	東京都
2	認定特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク	東京都	18	特定非営利活動法人山王学舎	福岡県
3	特定非営利活動法人よのなか塾	京都府	19	特定非営利活動法人教育サポートセンターNIRE	東京都
4	特定非営利活動法人さいたまユースサポートネット	埼玉県	20	特定非営利活動法人わたしと僕の夢	福岡県
5	特定非営利活動法人しげまさ子ども食堂ーげんき広場ー	大分県	21	特定非営利活動法人ブレンヒューマニティー	兵庫県
6	認定特定非営利活動法人エデュケーションエーキューブ	福岡県	22	認定特定非営利活動法人フードバンク山梨	山梨県
7	公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン	宮城県	23	認定特定非営利活動法人3keys	東京都
8	特定非営利活動法人With優	山形県	24	特定非営利活動法人こうべユースネット	兵庫県
9	特定非営利活動法人Kacotam	北海道	25	特定非営利活動法人いるかねっと	福岡県
10	特定非営利活動法人みんなのコード	東京都	26	一般社団法人アンビシャス・ネットワーク	愛知県
11	特定非営利活動法人居場所サポートクラブロベ	茨城県	27	特定非営利活動法人寺子屋方丈舎	福島県
12	特定非営利活動法人ターサ・エデュケーション	群馬県	28	一般社団法人寺子屋とんだばやし	大阪府
13	一般社団法人Atlas	滋賀県	29	特定非営利活動法人志塾フリースクール	大阪府
14	認定特定非営利活動法人D×P	大阪府	30	特定非営利活動法人アーモンドコミュニティネットワーク	神奈川県
15	特定非営利活動法人カローレ	埼玉県	31	特定非営利活動法人キッズドア	東京都
16	特定非営利活動法人アスイク	宮城県			

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ 自宅にパソコンやネット環境がない子どもが多いので、学校からの調べ学習やレポート作成に活用させていただきます。
- ▶ 使用頻度が高いため、パソコンの傷みや消耗も激しく、今後順次入れ替えていかなければならない。パソコンの需要は絶えることがない。
- ▶ パソコンが増えれば、ひきこもりや不登校の生徒に対するスカイプなどを利用した遠隔での授業を行いたい。

※寄贈パソコン応募時にいただいた情報により作成しました。

り抜粋)。会員団体は70団体で、そのうち31法人から申し込みを受け、審査の後、リース終了パソコン31台を寄贈しました(表4)。

4. その他のリース物件の寄贈活動

2018年度は、当協会の会員会社の協力により、リースユーザーの店舗内で使用されていた備品を店舗の閉店に伴いフードバンクへ寄贈する活動も仲介しました(表5)。

フードバンクでは、無償で提供を受ける食品を、無償で配布する活動を行うため、活動

自体では収益が生まれず、多くの団体では活動資金の不足という課題を抱えており、フードバンク活動で食品の保管や運搬に使用するための備品を十分に整備できていないのが現状とのことです。

こうしたなか、フードバンクの活動に理解と協力をいただき、このような仲介を実現することができました。

5. 特別支援学校に対する支援活動

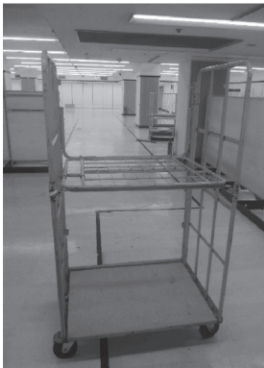
①各地の特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈 [対象：新潟県・静岡県]

特別支援学校に対するリース終了パソコン寄贈活動では、全国の特別支援学校のうち、パソコン整備率(文部科学省：学校における教育の情報化の実態などに関する調査)などを勘案し、新潟県と静岡県へ寄贈のご案内をしました。応募のあった14校に合計28台の

表5 店舗内備品の提供活動

寄贈品	数量
カゴ車	2台
ハンガーラック	6点
金属製ラック	1点
5段ボックス引き出し	1点

〈フードバンクへの寄贈品の一部〉



リース終了パソコンを寄贈しました。

特別支援学校では、生徒数・職員数の増加でパソコンの台数が不足していることに加え、限られた予算内でパソコンを導入することが難しく、経年劣化や古いパソコンを使用しているのが現状です。一方で、生徒が各種検定のための練習や、調べ学習・個々の課題

学習などに使用するほか、教師が教材の作成・授業の中で使用するなどパソコンのニーズは高く、また、外国籍の児童・生徒が増加している中、通訳やスクールカウンセラーが利用するケースも増えてきていることから、今後パソコンのニーズは益々高まることが予想されます。

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ 通訳用のパソコンが一台しかなく、ポルトガル語とタガログ語の生徒が来校した際に、同時に作業ができるようにしたい。
- ▶ 肢体不自由の児童や生徒が、ロボットアームを操作するためにパソコンを利用したり、視線入力装置用のパソコンとして活用したい。
- ▶ 寄宿舎に通う生徒が夜の自由時間にもパソコン演習ができるようにしたい。

※寄贈パソコン応募時にいただいた情報により作成しました。

②各地の特別支援学校に対する作業学習用教材の提供 [対象：全国] (表6)

特別支援学校への封筒などの寄贈活動において、2018年度は会員会社16社の協力により、合計7万枚を超える封筒を、北海道・茨城県・栃木県・東京都・福井県・滋賀県・愛媛県・香川県・福岡県の9都道県の特別支援学校45校へ寄贈することができました。

この活動では、社名変更や事務所移転などにより、会員会社で使用しなくなった封筒を、特別支援学校へ寄贈し、作業学習で活用いただいています。

特別支援学校の作業学習では、発送作業の練習（ラベル貼・封入・封緘・押印）で封筒を利用した後、最終的にシュレッダー作業までを行っている他、会社情報部分にマスキングテープや紙などを貼付した上で、ポチ袋や紙袋などの再生封筒も制作しています。

封筒を寄贈した特別支援学校の中には、毎年アビリンピック^{※3}全国大会へ出場し、度々受賞されている学校もあり、「寄贈いただいた封筒で練習した封入作業や宛名のラベル貼りなどの課題は、練習の成果を存分に発揮す

ることができました。」とのお知らせをいただきました。

会員会社からの封筒は、会員会社が所在する地域の特別支援学校へ寄贈していますが、一部の封筒については、まだ封筒寄贈活動を行っていない地域の特別支援学校にも寄贈しています。

※3 全国障害者技能競技大会。「アビリンピック」(ABILYMPICS)は、「アビリティ」(ABILITY・能力)と「オリンピック」(OLYMPICS)を合わせたもの。

③東京都立港特別支援学校の作業学習への協力 [対象：東京都] (表6)

2014年度から実施している東京都立港特別支援学校での就労移行支援活動では、以前から作業実習を行っている普通科・オフィスワークに加え、2016年度から新設された職能開発科においても作業依頼を実施しました。

職能開発科では、パートナーシップ実習制度を導入し、校内で企業からの仕事を受けている他、校外へ出て企業内での実習も行っています。

協会から作業依頼を行ったパンフレットの修正作業では、「作業のミス率を1%内にする」という目標を定め、一人一人が緊張感を持ち丁寧に作業を行いました。また、折にふれ作業の仕上がりを協会担当者に確認し、作業の振り返りを行うことで更に仕事の質を上

げる努力をした結果、作業のミス率は0.6%まで高められました。生徒からは、「初めて企業からの作業を依頼され、緊張感をもって取り組みました。」などの感想がありました。

普通科オフィスワークでは、協会からの郵送物の発送作業、パンフレットや各種伝票の

表6 作業学習用教材の提供活動

教材内容	提供先
封筒提供：合計72,191枚	北海道 10校 茨城県 8校 栃木県 4校 東京都 5校 福井県 1校 滋賀県 5校 愛媛県 1校 香川県 3校 福岡県 8校
発送作業（ラベル貼・丁合・書類の3つ折り・封入・封緘）	東京都 1校
事務補助作業（押印・書類の3つ折り・社内便フォーマットの貼付）	東京都 2校
パンフレット修正作業（4,944部）	東京都 1校
パンフレット発送作業	東京都 1校
書籍・雑誌記事のPDFファイル化	東京都 1校
封筒への修正シール貼付作業	福井県 1校
ラベル貼練習用シール	滋賀県 2校
伝票修正作業	東京都 1校
クリアブック・Vボールホルダー・キーホルダー提供	東京都 1校
使用済み切手提供	東京都 1校

※協会事務局からは別途、紙作品を作成する際に使用する冊子の色厚紙・裏紙・使用済み切手などの提供をしました。

※協会からの作業依頼については、東京都立港特別支援学校の普通科オフィスワーク・職能開発科の生徒が参加しました。

〈作業学習に参加した生徒（普通科・オフィスワーク）の感想（一例）〉

- ▶ メモの指導や社会の仕事についてのルールなどを学ばせていただきありがとうございました。
- ▶ この2年間に仕事で大切なことを多く学ばせてもらいました。メモの取り方や付せんを貼る時のコツなど、仕事で役立つことを色々教えてもらいました。4月からの社会人生活では教えてもらったことを活かして仕事に取り組んでいきたいです。
- ▶ メモの使い方を学ばせていただき、前よりも上手く出来るようになりました。

〈パンフレット修正作業を行った生徒（職能開発科）の感想（一例）〉

- ▶ 作業依頼のおかげで苦手だったものが得意になりました。
- ▶ 緊張感やプレッシャーなど、作業の大変さを学ぶことができました。パートナーシップ実習で学んだことを今後に活かしていこうと思います。
- ▶ 私たちにお仕事をくださり、ありがとうございます。私は訂正シール貼をしてずれたり斜めにならないように気を付けました。社会に出て仕事をする時も、正確な仕事をしていきたいです。

修正作業を行いました。

2年生・3年生相互のチームワークもよく、皆が相談・協力することで効率的に時間を利用できたため、作業学習は①ビジネスマナー講座、②メモを取る練習、③事務講座、④作業学習と、充実した内容にすることができました。事務講座では、数のかぞえ方・3つ折りの練習・ホチキスの使い方・語彙を増やす・付せんの使い方について練習をしました。積極的に練習をすることでコツをつかみ、次の作業学習からは早速練習の成果を出すことができました。

生徒からは、「社会についてのルールや仕事、メモの取り方が分かりました。」「2年間メモの取り方や仕事をさせていただきありがとうございました。4月からの仕事では授業で学んだことを忘れずに頑張ります。」などの感想がありました。

〈職能開発科での作業の様子〉



6. 2019年度の活動計画

2019年度の社会貢献活動は、下記の3分野での活動を予定しています。

これらの活動を実施するために必要となるリース終了パソコンおよび作業学習用教材については、会員会社から募集します。

①東日本大震災などの自然災害の被災地に対する支援活動

東日本大震災の被災地支援としては、引き続き、復興庁「被災者支援コーディネート事業」を通じたリース終了パソコンの寄贈活動を行うとともに、被災3県で教育支援・地域振興・社会福祉に関する活動を行う非営利法人に対するリース終了パソコン寄贈活動を継続して行います。[対象：岩手県・宮城県・福島県]

また、自然災害における復旧・復興において被災地域・被災者を支える非営利法人を支援する活動を今後も継続します。[対象：全国]

②社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人への支援活動

2019年度は、下記3分野で支援活動を行っている非営利法人に対する寄贈活動を開始します。

- ①児童養護施設以降の生活などをサポート
- ②社会的養護が必要な児童などへの支援
- ③長期療養・病弱児の院内学習支援

ご案内は都道府県ごとに順次行います。[対象：全国]

③特別支援学校に対する支援活動

「学校における教育の情報化の実態などに関する調査」(文部科学省)を参考に、全国の特別支援学校におけるパソコン整備率などを勘案し、2～3都道府県の特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈活動および会員会社から提供される作業学習用教材を提供する活動を継続します。[対象：全国]

また、東京都立港特別支援学校における就労移行支援活動についても継続します。[対象：東京都]

さいごに

2018年度は自然災害が多く発生した年となりました。災害発生時においては、今までの経験をもとに、より迅速にリース終了パソコンを寄贈することができるようになりました。

また、多くの協力団体と情報共有をいただくことで、広範囲にわたった被災地域への支援活動を行うことができました。

平成から令和へと時代が変わる中、新たな時代では自然災害が起こらないことを祈るばかりですが、必要な際には迅速に支援活動を行うことができるよう、これからも万全の準備をまいります。

特別支援学校宛での封筒寄贈活動においても、会員会社の担当者から、活動内容の問い合わせをいただいたり、事務所移転の情報をあらかじめご提供いただくなど、活動が根付

きつつあります。

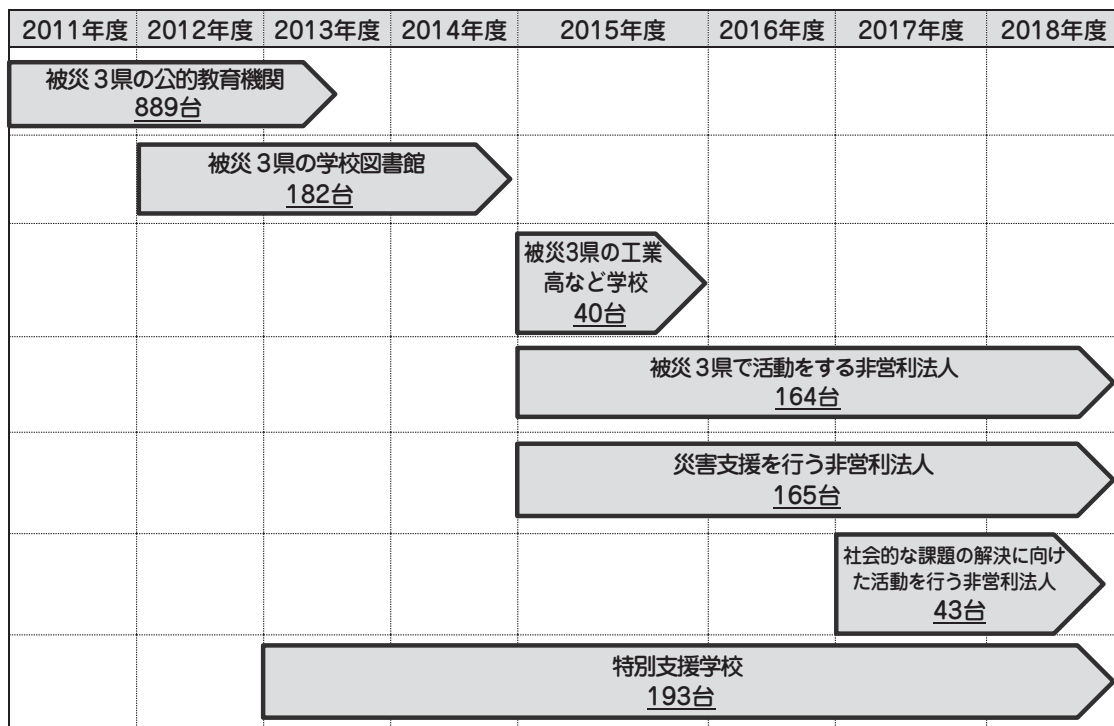
今までに本活動で出会えた方々のご縁を大切に、より良い社会となることへ貢献できるよう、今後も活動を行っていきたいと思います。

最後になりましたが、リース終了パソコンの寄贈活動および作業学習用教材の提供活動は、会員会社の協力を得て、沢山の方々に支えられて成り立っています。当協会の社会貢献活動にご協力いただいているすべての企業・団体・教育機関の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも引き続きご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

13頁からの別添資料では、リース終了パソコンを寄贈した非営利法人・特別支援学校からいただいた声を紹介しています。リース終了パソコンが様々な場面でお役に立っている様子がうかがえますので是非ご一読ください。

【参考資料】

〈リース終了パソコン寄贈活動の展開〉



〈リース終了パソコンの寄贈実績〉

(単位：台)

支援活動	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	累計
東日本大震災復興支援活動	524	378	95	74	114	42	29	19	1,275
上記以外の自然災害の被災地支援活動					10	91	10	54	165
社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人への支援活動							12	31	43
特別支援学校に対する支援活動			37	44	36	20	28	28	193
合計	524	378	132	118	160	153	79	132	1,676

【リース終了パソコン等*を提供した会員会社名（2018年度）】

【正会員】

東京センチュリー(株)／三井住友ファイナンス&リース(株)／JA三井リース(株)
日立キャピタル(株)／興銀リース(株)／オリックス(株)／芙蓉総合リース(株)／三菱UFJリース(株)
NTTファイナンス(株)／昭和リース(株)／ACSリース(株)

※リース終了パソコン以外では、店舗内で使用されていた備品を閉店に伴い寄贈いただきました。

【作業学習用教材を提供した会員会社名（2018年度）】

【正会員】

(株)めぶきリース／芙蓉総合リース(株)／JA三井リース(株)／東京きらぼしリース(株)
いよぎんリース(株)／北海道リース(株)／オリックス(株)／中道リース(株)／昭和リース(株)
三井住友ファイナンス&リース(株)

【賛助会員】

JA三井リース九州(株)／しがぎんリース・キャピタル(株)／AJCC(株)
(株)IHIファイナンスサポート／(株)札幌北洋リース／フェニックスリース(株)

(別添)

寄贈パソコンの活用方法など

*寄贈パソコン応募時に各法人・教育機関からいただいた情報および寄贈後にいただいたお礼等をもとに作成しました。

【東日本大震災被災地支援関係】

(岩手県)

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
現在法人は、1) すくすくルームの運営、2) ママサロン開設、3) 乳幼児の防災の3つの事業で被災地の安全で安心できる育児支援を行っている。	現在事務所内で各担当者が分担している作業を、一部自宅作業に切り替え、又はパソコン使用で同時作業等、事務作業の効率化から、ゆとり時間を確保して各イベントや利用者との交流、相談等を充実する。	
宮古地域を中心に被災障がい者(児)等への日常生活、社会生活を支援するための支援事業(障がい者の生活介護・障がい児の日中一時支援)。	事業所内のポスターや新聞等を作り、パソコンの技能を習得させたい。職員の書類作り、事務処理。	放課後等児童デイサービスを検討している。
女性特有の相談が寄せられるような窓口を開設しながら、女性からの視点でまちづくりに参画できる仕組みづくりに向けて活動をしている。	情報収集・申請書及び報告書作成・NPOとして情報発信等でパソコンを用いる事務作業も少なくないが、現状ではパソコン1台しか所有しておらず、会計なども同じパソコンを用いているという状況。唯一あるパソコンも経年劣化により作業が難しい状況にある。	関わる人々に手軽にパソコンやインターネットなどを体験してもらい、ICTリテラシーの向上やリメイクなどの知識醸成に向けて取り組みたい。この度は大変ありがとうございました。今後も被災地の住民の笑顔を発信できるように、大切に使用させていただきます。

(宮城県)

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
震災前の石巻の状況に戻すのではなく、あたらしい石巻を「つくる」を合言葉に石巻で生まれた。地元商店主、NPO職員をはじめ、東京の建築家、まちづくり研究者、ITの専門家、広告の専門家など様々な職能を持つ集団である。石巻をプロトタイプした持続可能な地方都市活性化のモデルづくりを行っている。	16町内もある大きな地区協働まちづくり協議会では、複数の部会からなる運営委員と、それを取り纏める役員で構成されているが、協議会には自由に使用できるパソコンがなく、各運営委員や役員が個人のパソコンを使用して作業することも多く、必要なデータの集約も中々できない状況である。	将来的には住民の方が広く参加して頂けるようなイベントを開催し、地区協働のまちづくり協議会に気軽に興味を持ってもらえるような取り組みをしながら、仲間を増やしていければと考えている。

(福島県)

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
福島県内の全復興公営住宅へコミュニティ交流員を配置し、生活支援・自治会支援を行っている。また、被災者支援団体のネットワーク組織として情報発信・共有を行っている。	福島県庁からの事業委託を受け、復興公営住宅における自治会の形成、立ち上げ後のフォローを行っている。自治会役員が自ら必要な文書や行事のチラシ等を作れるようにパソコン操作方法等をレクチャーし、自治会主導での運営につなげていきたいと考えている。事務所から持ち出せるパソコンがあれば、役員や興味のある住民向けにパソコン操作を指導することが出来る。	この度は本当にありがとうございました。大事に使わせて頂きます。
風評被害等の対策のため、南相馬市の物産を関東地方に紹介し、交流事業を行う。また、仮設住宅に住む高齢者の支援事業も行った。	本パソコンを新規会員の獲得のための広報活動に利用したいと考えている。	まちの活性化をはかり、まちづくりを進めたいと考えている。南相馬市外の様々な協力が必要となるため、当団体の広報活動の強化と、他地域の交流事業を計画・実行していく予定である。

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
宮城県女川町、岩手県大槌町にて、小中高生に学習指導と心のケアを行う「コロボ・スクール」を運営している。「県立ふたば未来学園高等学校」で①放課後の学習支援、②対話によるキャリア学習支援、③個々に応じた探究支援（授業内のコーディネートやメンター）を実施している。	放課後施設「コロボ・スクール双葉みなとラボ」にて、2台のパソコンを生徒向けに解放しているが、40名前後が毎日利用するため不足している。 ①キャリア支援：定期的に卒業生・各地の大学生・社会人と生徒をオンラインで繋いだキャリア面談を実施。 ②探究活動における資料作成・インターネットでの調査：ふたば未来学園高校が取り組む「未来創造探究」では、生徒それぞれが探究テーマをもち活動をを進めている。	2019年4月より、ふたば未来学園中学校も開校し、中学生向け支援も進めていく予定。より多くの子どもたちに学びの機会を届けていければと思っている。 この度は、リース終了パソコンを寄贈いただき誠にありがとうございます。年度末に向け、パソコンのニーズも高まっている時期でもあったため、嬉しい結果となり、本当にありがたく思っております。
地域活動サポートセンターとしての中間支援事業。相双地方振興局地方創生サポート事業交流人口拡大事業（まちの駅）。イノベーションコースト構想推進機構 交流人口拡大事業。	地元団体の経営者の多くは高齢者であり、IT技術を苦手とする人も少なくない。SkypeやZoomといったオンライン会議システム、YouTubeやFacebook等のSNSを活動に活かすためのサポートを進めるためにも、複数のノートパソコンを必要としている。	2018年12月に双葉郡初となるまちの駅「ふたばの駅ふたばいんふお」を富岡町に開設することができた。2019年には、双葉郡内に2駅目、3駅目のネットワークの展開を目標としている。 ご寄贈ありがとうございます。
個人が自立・自走できるためのスキルアップ機会の提供。より広域の「コミュニティづくり」へ移行する動機づけの機会の提供。主体性を発揮できる人材の発掘・育成。コミュニティ内に足りない資源の外部からの調達。コミュニティへの助言・コンサルティング。自社ブランド製品・サービス開発・販売。	原発事故による長期避難によって人口が250人程度まで減少した村が持続していくだけでなく、さらに村らしい文化を100年後に繋いでいくために稲作文化から地域を持続させていく収益事業までを一貫して行っている。米づくり体験運営チーム、米からの新商品開発チームの事業用パソコンとして活用したい。	本日無事手元にPCが届きました。より地域に還元していけるように引き続き頑張っていきたいと思います。
社会福祉の分野	活動全般の記録データ保存、参加者名簿の作成。	将来は、ADHDの障がいを持っている人が自立出来るような活動をしたい。

【西日本豪雨災害支援】

パソコンの状況	パソコンの使用目的	その他
災害時の支援活動用として準備したものではなく、今回の災害発生当初は、通常業務で使用しているパソコンを災害ボランティアセンター運営に回さなければならず、通常業務に支障をきたすこともある。個人情報等のセキュリティの問題等にも不安を抱きながらの運営である。	今日までは、災害ボランティアセンター運営の主たるものは土砂出しであったが、今後は被災者の心のケアが支援内容に入ってくる。そのため、見守り活動や居場所づくりにパソコン増設が必須な状況となっている。	今回の災害では、当市は広域的に被災したが、特に最東端と最西端の被災は甚大なものである。発災後に災害ボランティアセンターを立ち上げ、復旧・復興に向けて住民の皆様と一緒に取り組んでいるが、1か月半経った今でも自宅や道路に大量の土砂が蓄積し、まだまだ終わりが見えない。
公民館が浸水し、事務室に2台設置していたパソコンに汚泥が付着し、使用不能になった。	地区社会福祉協議会事業、公民館事業、自治協議会事業に係る事務に使用。	2017年1月から新たにこども食堂も始めたところであるが、豪雨災害で備品等全てのものが使用不能となった。このようなとき、リース終了パソコン寄贈のご案内を頂き、本当にありがたく思います。 何もかもがなくなり、再建の協議が開始した頃でしたので、本当に助かります。大切に使用させていただきます。
ボランティアセンター運営（ニーズ・マッチング・集計等）でパソコンが不足しており、パソコン教室等で使用するパソコンを借用して入力しているため、パソコン教室等が開催される日は入力するパソコンの台数が足りていない。	地域センター運営の事務作業・自治会の会合やパソコン教室の資料作成等開設から現在に至るボランティアセンター運営のデータ整理等。	豪雨災害から1ヶ月以上が経過し、重機での土砂の撤去中のところもあるが、復興は着実に前に進んでいる。

パソコンの状況	パソコンの使用目的	その他
	支えあい支援センターの事業運営。	
デスクトップ型のパソコンがほとんどで、ノート型は2台しかない。うち1台はWindowsXPで動作も遅く活用できていないのが現状である。災害時にもノートパソコンでデータ管理していたが（1台で）作業によっては複数台の必要性を感じた。	地域での見守り活動のための専用端末で使用する他、地区の研修会で使用させて頂きたい。また、今回のような被災時にも活用させて頂きたい。	住民の方への見守り活動や、地域福祉の理解を深めて頂くためには、視覚的効果のあるプレゼンが必要となる。その際には、パソコンでパワーポイント等を使用している。高齢化率は35%を超え、一人暮らし高齢者の増加に伴って、地域が第2の家族になり、支援や見守りをしていく必要性が高くなっている。
	地域福祉活動・自治会活動支援等	
通常業務に使用する事務用パソコンはノートパソコン型がメインであり、災害時にはその内から何台かを支援活動用に充てるつもりであったため、災害時専従のパソコンは用意できていない状態。	普段は地域福祉の増進に携わる業務に使用する。そして、災害時用と明確に位置付けておくことで、有事の際に混乱を避けることが可能になると考える。	市町村合併により市域が広域にわたっていて、北部の山間地区等大雨による浸水被害を被り易い地区も存在する。災害に対する備えが必要な地域であり、災害ボランティアセンター設置訓練等を行っている。この度の申請はその備えの一環として行わせて頂く。
災害ボランティアセンター事務局等で不足している。	災害ボランティアセンター本部とサテライトの情報共有のため。日報等の事務で使用。	今後も継続した支援をしていくため、ご協力頂けたらと思います。
	西日本豪雨災害の復興において、生活再建に向け、安定的な日常生活を確保するため、様々な課題に応じた相談対応、地域交流の場づくり等支援活動を行うための資料作成や地域のマップ作成等に活用させて頂きたいと考えている。	この度は豪雨災害による甚大な被害に多大なご厚意を頂き誠にありがとうございます。温かいご寄贈に対し、深く感謝申し上げますとともに、災害復興のために大切に活用させて頂きます。
野村ダムの上流放流により、脇川沿いの中心住宅街や商店街、農地やコミュニティスペースが全壊や大規模半壊の被害に遭った。法人の事務所も天井までの浸水被害を受け、パソコンをはじめ全ての備品を失った。備品が全てないということで、個人のパソコン等を使用しながらの活動である。	被災前から行っている地域づくり団体からの事務委託業務や放課後子ども教室の連携などに使用し活動していく。また、この地域唯一のNPO法人として、被災団体ではあるが、被災地を支援するという地元地域だからこそできる各団体や地域の声をつなぐ調整役となり、活動していくうえで、寄贈していただいたパソコンを活用していきたいと考えている。	みなし仮設、在宅避難の方の把握及び支援が課題となっている。ささえあいセンターと連携しながら、「住民同士で助け合いながら復興を進める地域づくり」を住民のみなさんとともに行うなど、被災された方々の生活再建を行う手助けをできたらと考えている。 この度は大変お世話になりました。ありがとうございました。
	ホームページ作成・グループウェア構築用に使用予定。	被災された方々の災害支援のために、新たなネットワークづくりに取り組んでいる。今回、ご寄贈頂くパソコンを活用し、さまざまな情報共有・情報発信・取りまとめを行っていきたく考えている。ご支援賜り、感謝申し上げます。引き続き、このような市民活動サポートの充実をお願い申し上げます。

【北海道胆振東部地震支援】

パソコンの状況	パソコンの使用目的	その他
臨時的に使用できる余裕台数がなく、災害ボランティアセンター業務では、通常業務用のパソコンと兼用で使用している。また、災害ボランティアセンター繁忙時期のパソコンは、リースや町内の団体からの借用などで対応したが、手に時間がかり、業務の運営に支障をきたした。	法人の通常業務では、パソコンの設定をその都度変更し、インターネット接続しているため、業務が非効率となっている。寄贈を受けるパソコンをインターネット専用パソコンとして設置し、継続的な被災者支援活動の情報発信に使用する。また、災害時においては、災害ボランティアセンター運営用パソコンとして使用する。	孤立防止、困りごとの支援など、継続的な被災者支援が必要な状況。 当町では、余震が続き、まだまだ災害の備えが必要な状況で、いただいたパソコンは、有効に活用させていただきたいと思います。
災害支援用ノートパソコンは、平成26年の台風10号災害において、アルバムや写真などの思い出の品をデジタル修復するための専用ソフトをインストールしており、この度の北海道胆振東部地震においても同様のプロジェクト (Omoidori Project) で使用してる。	寄贈頂くパソコンは、現在実施中の以下の支援活動で利用することを予定している。 ①SNSを用いた被災地情報活動②北海道足湯隊事務局支援活動③1市3町の仮設住宅、みなし仮設住宅、公営住宅転居の被災者に対する家電製品の配布④仮設住宅内の生活環境改善活動	この度はご支援を賜り厚くお礼申し上げます。当法人では仮設住宅が解消されるまでの長期にわたる支援を予定しておりますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

【社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人支援】

活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
行政教育機関、民間、NPO等と連携した教育支援活動。不登校やひきこもり支援、こども達の居場所づくり、学習支援、高卒サポート校。	不登校・ひきこもりにある子ども達の教育支援として開設しているフリースクールにおいて、経済的に困難な世帯、ひとり親世帯等に提供している学習カフェ、学習ボランティア活動での活用。	不登校・ひきこもりの子ども達が勉強で困っている部分をICTを活用し、サポートできるプログラム・仕組みの強化。行政・NPO等と協働による学習支援・自立支援活動を計画中。 誠にありがとうございます。子どもたちの支援活動にて有益に活用させていただきます。
1974年より子ども達の学習支援や不登校児童・生徒の居場所づくり、若者の社会参加や就労支援を行ってきた。居場所の運営や就労研修を通して、子どもや青年達が進学・復学や働くためのスキルを学ぶだけでなく、まわりの人と協同する力を育み、他者および自分への信頼を取り戻すよう応援している。	管理部門のパソコンが古くなり、事務処理用のパソコンを必要としている。	パソコン寄贈、まことに有難いです。よろしく願い致します。
教育・就労・居場所を含めた包括的な若者支援。	学習支援教室の現場に携帯し、生徒の出欠を始めとする情報管理を行う。また、現場にて教材の臨機応変な出力も行う。	
学習支援・居場所運営・こども食堂・フードバンク・就労支援・保護者の学び直し等。	無償の学習支援等において、生徒の調べ学習およびスタッフの教材研究、プリント作成、印刷に利用したい。個人情報を含まない生徒およびボランティアスタッフ専用のパソコンとして利用したい。	パソコンが増えればひきこもりや不登校の生徒に対するスカイプなどを利用した遠隔での授業を行いたい。よろしくお願いいたします。
子ども食堂・学習支援・プレゼンテーション・舞台パフォーマンス指導・プレイパーク。	学習習慣が定着していない子どもや、発達障がい等で落ち着いて学習に取り組めない子どもに対して、教材アプリ等を活用して、学習習慣の定着を計りたい。	学習支援体制の確立・スタッフ不足を補うために、ICT利用が不可欠。多様な子ども達の学力定着・向上への対応方法、学校・地域・自治体・保護者の協力（認知度も）、資金調達。 いただいたパソコンを学習支援で、有意義に使わせて頂きます。ご協力くださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
<p>経済格差に起因する教育や体験機会の格差是正を目的に、経済的に厳しい環境にある子ども達も利用可能なe-ラーニングを活用して、低料金を学べる複合型学習拠点「スタディプレイス」を展開している。ひとり親世帯や生活保護世帯の子ども達を対象に、寄付を原資として、授業料の最大50～70%を免除する奨学制度を提供している。</p>	<p>教室のパソコンには、MSオフィスがインストールされていないため、子ども達がプレゼン資料等を作成する場合のパソコン及び教室管理を行うスタッフ用のパソコンとして活用させていただく。</p>	<p>今後3年間でスタディプレイスの多拠点展開を進めることで、事業モデルを構築し、ICTを活用して、良質な多様な学びの機会を提供する新しい学習支援のモデルを全国へ展開したいと考えている。 PC寄贈の件、しっかり子ども達のために活用させていただきたいと思っています。</p>
<p>経済的な困難を抱える子どもたちに塾や習い事、体験活動等で利用できるスタディ・クーポンを提供している。</p>	<p>主に大学生のボランティアスタッフが使用しているノートパソコンのうち数台について、電池が消耗し、充電ができなかったり、キーボード部分が破損していたり、インターネット接続が度々切れたりと老朽化が激しく、作業が滞ることがしばしばあるため、新たなものを導入し、解消を図りたい。</p>	<p>満足に動作しないパソコンが数台あり、慢性的に業務が滞ることが課題としてあげられる。 パソコンをご寄贈いただけるとのこと、誠にありがとうございます。大切に使用させていただきます。</p>
<p>立ち上げ以降、地域のどんな子どもも大人も生き抜ける地域社会を目指して活動している。フリースクールの子も達が地域とつながれるカフェレストランや地域の人が利用することで若者の自立を支える会員制の居酒屋等も展開している。</p>	<p>学校に行けない子ども達の受け皿であるフリースクールにおいて、子ども達のパソコンの練習、教材情報の検索に使用させていただきたい。フリースクールで使用しない時間に若者の就労支援事業でパソコンの基本操作訓練にて使用させていただきたい。</p>	<p>法人としては、行政サービスでは支援しきれないニーズに対して、地域の方を巻き込み、事業を展開してきているので、資金繰りは常に課題だが、地方だからこそ、人と人とのつながりを強く、どんな人にも居場所と出番のある社会を作っていきたい。</p>
<p>北海道内で経済的理由や家庭環境等によって、十分な学習環境にない子ども・若者を対象に学習支援を行っている。五教科の学習サポート、プログラミング教室、自然体験学習、料理教室等の体験学習、受験対策等も行っている。</p>	<p>年に4回程度全ての拠点の子ども（約130名）を対象にプログラミング教室を行っているが、ボランティアスタッフの私物のパソコンを使っており、パソコンの台数が不足している。</p>	<p>事務局の事務処理能力向上、専門的なソフトの活用を考えているが、スペックの高いパソコンを購入することが難しい。 この度はパソコンを寄付していただき、まことにありがとうございます。子ども・若者の学びの場づくりに活用させていただきます。</p>
<p>コンピューター教育及びプログラミング教育の普及事業 ・シンポジウム・指導者研修会・研究授業支援・指導者養成塾・Hour of Codeプログラミング普及啓発プロジェクト・プログラミング教材開発</p>	<p>全国で実施する学校の先生向けプログラミング教育のシンポジウムにて、パソコンを使った研修（模擬授業等）を実施する際に使用。</p>	<p>初等教育でプログラミングが必須化される2020年までに全国2000の自治体に各1人ずつ合計2000人のプログラミング指導教員を養成・育成することを目指している。</p>
<p>①学童保育②世帯年収180万円前後までの家庭の児童を対象とした無料塾③地域交流事業（こども食堂、衣類の提供、チャリティバザー、家庭相談等）</p>	<p>児童教育の一環としてパソコン教室を開いており、本部の事務用パソコンとあわせ、パソコンの確保に苦慮している。来年度からはITパスポートの学習会も予定しており、ITの学習を強化していきたいため、パソコンの台数を確保したい。</p>	<p>現在生徒数が600名以上おり、パソコンの調達が追いついていない。このような寄贈の機会が得られることを誠にありがたく思います。おかげさまで、子ども達の貧困解消へ一歩近づくことが出来ました。</p>
<p>1.学習動画サイトの運営 2.児童養護施設児童への学習支援 3.フリースクールの運営 4.高卒認定試験対策講座</p>	<p>①動画編集用②事務用（現在当法人には専用のパソコンがなく、個人のもを使用しているため）③主に不登校を対象として実施している「プログラミング教室」でレンタル用のパソコンとして使用。</p>	<p>今後は、「プログラミング教室」を一般世帯向けにも実施していく。料金は所得に応じて変えていくシステムを取り、応益負担のしくみを取り入れる。 この度は、パソコンをご寄贈頂き大変ありがとうございました。</p>

活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
<ul style="list-style-type: none"> 「守山市カンフォア第2の学校」：生活困窮者自立支援制度「子どもの学習支援事業」受託。 「フリースペースキャンパス」：主に市内在住の中学生が「気軽に立ち寄ってこれたらいいな」という思いで、自主事業として週1日夕方2～3時間実施。 「体験活動ぶらっとほのぼのハウス」：小中高生の長期休み期間に平日実施。 	<p>現状、法人事務ならびに子ども達との活動等、いずれも社員の個人パソコンを持参して使用している。法人用のパソコンを購入する費用は、なかなか捻出しにくい財政状況。リース終了パソコンを頂くことによって、上記の解決に役立てたいと考えている。</p>	<p>子供と大人、人と人をつなげていくことを事業やしかけを通して行い、あったかい地域、居場所のある地域づくりを目指して今後も試行錯誤していきたい。 この度は、ご寄贈賜りまして、心より御礼申し上げます</p>
<p>社会の中で生きにくさを抱えている家庭や、経済的な困難を抱えている家庭の子どもに対し、地域で包括的擁護を行うために、美術造形の文化教育を核とした居場所づくりと学習支援を展開している。</p>	<p>時間帯によってスタッフの作業が重なる場合があり、パソコンの導入によって、滞っていた業務もスムーズに行うことができ、人件費の削減や短縮された分の時間を他業務に充てられるので、全体的な円滑化につながる。</p>	<p>子ども支援の取り組みを政策提言化し、他地域の支援につながっていくよう運営を拡大していく。そのためにも、団体スタッフの事務スキル、運営スキルの向上は必須だと考えている。 この度は本当にありがとうございました。</p>
<p>定時制、通信制高校には様々なしんどさを抱えた高校生が通っている。経済的困窮状態や不登校経験者も多く、発達障害、学習障害など様々な事情を抱えた生徒が多い。彼らが社会の中で孤立しないように「人とつながる場」を作り、高校生が卒業後も働き生きているシゴトを高校生とともに作ることで、自分の未来に希望がもてる社会をつくる。</p>	<p>ボランティアや寄付者の管理や、高校生用の日々のコミュニケーションとしても毎日パソコンを使用する。現在使っているパソコンの動作がとても遅いため、業務効率化を図りたいと新しいパソコンを活用したいと考えている。</p>	<p>高校生に無料でパソコンを配布し、プログラミングが学べる機会をつくるプロジェクトを過去に実施したことがあり、次年度ももっとたくさん新しい事業をしていきたいと考えている。 この度は、ありがとうございました。</p>
<p>(1)放課後児童クラブ(2)児童館事業(3)つどいのひろば事業(4)コミュニティ・レストラン業(5)保育園事業(6)学習支援事業(7)子ども食堂事業(8)障害児相談支援事業</p>	<p>現在、2つある学習支援教室のうち、1つの学習支援教室のパソコンが不足している。そのため、子どもたちの学習内容等の活動記録をデータ管理する専用のパソコンがなく困っている。</p>	<p>生活困窮者世帯等の中学生や高校生に学習支援教室を実施している。学習支援教室の希望者は多く、今後、もっと学習支援教室を増やしていきたいと考えている。 大切に使用させていただきます。誠にありがとうございました。会長をはじめ、ご関係者皆様にお礼を申し上げます。</p>
<p>生活保護者・児童扶養手当などの受給世帯の子どもを対象に学習サポート、相談サポート、体験プログラムを実施。上記世帯のひとり親世帯の保護者を対象に進学費用講座やピアカウンセリングを実施。学校以外の居場所としてのフリースクール、困窮世帯対象の子ども食堂を開催。</p>	<p>フリースクールなど自主事業が寄附や半年度の助成金が主な財源となっており、パソコンの購入やリース契約が難しい。現在は、7年前にご寄付頂いた中古パソコンを事務作業に利用しているが、処理速度が遅く、Officeも搭載していないため不便が多い。</p>	<p>学習支援事業については、未実施の自治体を協働に向けた提案を行っていく。今後も事業の継続・拡大が見込まれ寄贈パソコンを有効活用できる。 本当にありがとうございました。</p>
<p>生活保護家庭など、経済的な理由で塾通いが困難な子どもの学習支援教室「自由塾」を大田区内に4ヶ所運営、現在90人の生徒がいる。地域の課題を地域で解決することをミッションに70人を超えるボランティアが集まり、ほぼマンツーマンで子ども達の学習支援を行っている。さらに、中高生のフリースペースを定期的開催している。</p>	<p>ITC教材を活用し、生活困窮世帯の子どもの教育支援を進めている。しかしながら、パソコンの台数が十分に不足し、まだ十分な支援体制が整っていない現状である。毎年利用者が増えており、この需要に対応すべく貴法人の支援を受けたいと思っている</p>	<p>不登校や外国にルーツを持つ子ども達の支援について、手厚く進めていきたいと考えている。</p>

活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
LD（学習障害）やADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD（自閉症スペクトラム障害）などを中心とする発達障害の子どもたちは、見えにくい障害特性のために「怠けている」「努力が足りない」「親の育て方が悪い」など誤解されやすく、適切な支援が得られないままであることが多い。特別な教育ニーズを持つ子どもたちを対象に、個別学習サポートと、仲間づくりの為にイベントも行っている。また、ノート、フリーター、高校・大学中退、ひきこもりなど、若者の自立と社会参加をサポートする取り組みも実施している。	発達障害を持つ子どもたちの学習支援へ活用したい。読み書きに困難を持つLDは、紙ベースの学習では、持っている力が発揮できない場合が多くある。パソコンを使った学習支援は、LD支援に幅広く導入されてきており、学ぶ楽しさや学習意欲を引き出す効果が期待できる。	若者の就労支援として、パソコンを活用してホームページ制作、DTPなどのトレーニングを行っていききたい。
生活保護、困窮世帯、ひとり親家庭の子ども対象の無料塾（食事支援含）／自宅訪問での支援（学習・生活）／地域行事への参加（もちつき）	家庭にパソコンがない子ども達が多いため、触れる機会を増やし経験をつませたい。パソコン利用での学習支援をし、その後の学力向上を目指したい。	この度は、リース終了パソコンの寄贈に選定いただき、ありがとうございます。子ども達の未来が明るいものになりますよう、大切に使用させていただきます。職員一同、感謝申し上げます。
	こどもの貧困に関する学習支援の拡大に伴って参加する子どもの数が増加している。子どもの出席状況をICレコーダーを導入し、電子化できないか検討している。雇用する職員も増加していますので、労務や総務関連にも人的なコストを割くことが予想されるため、新規パソコンの購入等を検討している。	事業規模の拡大に伴い、運営側においても、業務の効率化をより進めていく必要があると考えている。そのため、ICTの導入が現状紙媒体での運用も電子化していく必要があり、大幅な運用改善が必要であると考えている。有効活用させていただきます。
消費期限内でまだ安全に食べられるのに外箱破損や薄い印字等で販売できない食品を、企業や市民等から寄贈して頂き、生活困窮者や施設・団体等に無償配布している。	職員1人1台のパソコンを使用し、ネットワークを活用して、データ入力や管理、資料作成等を行っている。使用頻度が高いため、機械の傷みや消耗も激しく、今後は順次入れ替えていかなければならない。さらに、新入職員も入る予定となっており、パソコンの需要は絶えることがない。	この度は、ご寄贈くださりまして心よりお礼申し上げます。大切に使用させていただきます。次々と老朽化していく中で、たいへん貴重な一台となります。ありがとうございました。
日本の子ども達のために、生まれ育った環境によらず、自立や権利保障の観点から必要な支援、情報が十分に行き届く社会の創造に寄与する事を目的として活動している。	インターネット上でも安全・安心な相談先を見つけた事ができるような仕組みづくり、また映像コンテンツやコラムなどの情報提供も継続し、子ども達自身に正しい情報や権利を知る事ができる環境づくりに注力していく予定。	小学生や保護されていない子ども達など、発見されづらいより支援が困難な子ども達に適切な支援を届けるための人材育成や資金調達が大きな課題である。そんな中、リース終了パソコンの寄贈を頂ける事で経費の削減ができる事、大変ありがたく思っております。
青少年育成活動、支援活動、青少年活動の推進、中間支援 等	神戸市より生活困窮者学習支援事業を受託し、運営に取り組んでいる。その事業における総務・実務作業等に活用したいと考えている。	支援対象者（中学生中心）の学習（eラーニング）により効果のある取り組みとしてパソコンを活用したいと思う。この度は、パソコンを寄贈頂きありがとうございます。このパソコンを活用し、学習支援事業に取り組んでまいります。
経済的事情や家庭の事情を抱える世帯の子どもたちが、無料で学べる場を提供し、将来に夢と希望をもって志望校に進学できるような支援を中心に行っている。中学3年生を中心に無料の学習会を行っている。また、学習会の他に子ども食堂や高齢者サロン等地域に根差した活動を行っている。	複数台のパソコンがあるが、その大部分が約10年前のパソコンであり、動作がとも遅いものばかりである。よりスピーディーに正確な経理を行うためには、今回寄贈して頂けるパソコンが是非必要であり、更に多くの事務作業やサービスを提供することが可能になると考えている。	福岡市内では、十分な学習会を行っているが、市外ではまだ開催できていない。近隣の市などから開催の要望はあるが、人力的な問題もあり、市外には着手できていないのが現状である。また、同様の理由により、無料学習会と同じ場所において子ども食堂を行うという目標にもまだ着手が進んでいない。

活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
<p>「すべての子どもが自分の意志で将来を選択・実現できるようにすること」を目指し、学習支援事業を子どもの貧困対策として実施している。学校や家に居場所のない子どもに対し、居場所支援事業を行っており、子どもたちから悩みを打ち明けられたり、一緒に食事の準備等を行うことで、他者とのつながり、様々な能力形成のきっかけを提供している。</p>	<p>学習支援事業と居場所事業に関する事務・書類作成は元より、当法人のミッションでもある「すべての子どもたちが、将来に希望をもって、生きていくことができる」という社会を目指す活動に活用する。内々のものだけでなくパソコンを活用し、社会に向けて働きかける発信を強化していけたらと考えている。</p>	<p>この度はリース終了パソコンのご寄贈ありがとうございました。私たちが取り組む事業をこれからもっと発信し、子どもが希望をもって生きていくことができる社会を目指し邁進してまいります。</p>
<p>フリースクール・環境教育・子ども食堂</p>	<p>子どもたちのWebでの学習、調べもの、プログラミング。</p>	<p>子どものWeb会議等で活用したい。この度はご寄付をいただきありがとうございます。心より感謝いたします。</p>
<p>生活困窮者自立支援法に基づく市子どもの学習支援事業を受託し、市内東西2ヶ所で週2日ずつ（計週4日）夜間の学習支援教室を運営している。対象者は、中学1年生から高校3年生まで生活保護家庭と児童扶養手当全額受給家庭の子ども達である。</p>	<p>法人の事業活動用スペース内に子ども達が臨時的に利用できる自立支援スペースを設けているが、そこに設置するパソコンがないため、そのスペース内に設置し、インターネット環境を整えたいと考えている。</p>	<p>当法人が受託している市子どもの学習支援事業では、市の要綱上内部留保（利益）は認められていないため、備品購入に費用がさけず、今回のようなご寄贈は大変ありがたいと感じている。子ども達のサポートのため、ありがたく活用させていただきます。</p>
<p>不登校・引きこもり等の悩みを抱える小・中・高校生を対象に学習支援、体験活動の支援を行い、子ども達の抱える悩みや不安を笑顔・自信・前進する力に変え、自立につなげることを目標にフリースクールとして活動している。また、行政委託事業等にて貧困課題や若者（39歳まで）の引きこもりなどの社会問題にも取り組んでいる。</p>	<p>生徒が利用できるパソコンを増やし、プログラミング等のパソコンを使った活動にも力を入れていきたいと考えている。また、Officeソフトを使ってパソコン操作の練習をする環境をつくり、子ども達の将来に役立てればと思っている。</p>	<p>将来的には生徒1人に1台ずつパソコンが利用できるよう整備していき、子ども達にパソコンの活用やメディアリテラシーについてもより深く伝えていければと考えている。</p>
<p>教育支援：子ども貧困問題対策（学習支援、居場所支援、相談支援、生活支援） 不登校支援：フリースペース事業「ともにあ・る・く」 相談事業：「神奈川県フリースペース等事業補助金事業」受託</p>	<p>主に小学校高学年から高校生への学習支援に使用する。自宅にパソコンやネット環境のない子どもが多いので、学校からの調べ学習やレポート作成に活用させて頂く。</p>	<p>不登校支援活動において当法人の情報が教育委員会のホームページに詳しく載ることからさらに「困難を抱える青少年と親への支援」の充実化を図っていく。また「アーモンド子ども食堂」が4年目となり、地域振興と連携を深める。</p>
<p>東京・東北において生活困窮家庭の子どもたちを対象とした無料の学習支援事業を展開している。英語教育やIT教育といった教科学習以外の支援、子どもたちが自由に過ごせて学習支援や軽食の提供を受けられる居場所事業にも取り組み、自主事業に加え、9つの自治体から学習支援に関する受託事業も受けている。</p>	<p>新年度に向けて英語教育やIT教育のための自主事業の拡充を計画しており、当該現場が増えるとともに人員も増えることからそこの活用をさせていただこうと考えている。</p>	<p>パソコンの調達については、多くの方々から頂いたご寄付を原資として行っておりますが、今回のようにパソコンをご寄贈頂けることで、その分より多くの子どもへの支援に原資を割けるため非常にありがたく思っております。今後は、さらにIT教室でのパソコンの設置等も必要になってくるため、引き続きご支援頂けると助かります。</p>

【特別支援学校】
(新潟県)

パソコンの状況	使用目的	その他
就労促進コーディネーター、介助員は、現場実習に関する資料の作成・印刷、アンケートの集計、分析等の業務を行うが、自由に使えるパソコンが配当されていない状況。	生徒の企業就労、福祉就労のための資料作成、集計等の業務に使用。また、作成したデジタルデータは、進路指導主事や各担任と情報を共有し、就労へのサポート材料とする。	寄贈頂きましたパソコンは有効活用させて頂く。
パソコン教室にノート型パソコンがあるが、経年劣化や古いバージョンのOSもある。また、当校に併設されている寄宿舎で生徒が使用するパソコンが不足している。	日本語ワープロ検定、情報処理技能検定の受験、合格に向け、日々生徒が授業の中で練習しているが、寄宿舎に通う生徒はさらに、夜の自由時間にもパソコン演習をしたいと言っている。学校の授業では、総合的な学習の時間等で、自分の意見をまとめるのにパソコンを活用している。	
学校のパソコンルームに学習用のパソコンがあり、中学部・高等部の授業を中心に使用している。時には、学習用パソコンを譲り合って使うこともある。	小学部の外国語（英語）の授業で教材のDVD（映像や音楽）等を再生してプロジェクターで投影するために使用したい。肢体不自由の児童や生徒が、ロボットアームを操作するためにパソコンを利用したり、視線入力装置用のパソコンとして活用したい。	
Windows10を搭載したパソコンが数台しかない。Windows7搭載パソコンが数台あるが、2020年1月にサポートが切れ、インターネットの使用に危険が生じる可能性がある。児童・生徒が学年・学級単位で安心してパソコンを使用できるよう、Windows10（Windows8以降）を搭載したパソコンを増やしていきたいと考えてる。	主に下記のようなインターネットを活用した学習を行う予定。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分が興味を抱いた職業・料理・余暇等についてインターネットで調べる ・情報モラルクイズ等、インターネット上で行えるWeb問題に挑戦する ・NHK for School等、インターネット番組を視聴する その他、ローマ字入力の練習、文書・表計算ソフトの活用等を学習する。	
管理・規則が厳格であり、フリーソフト等のインストールは認められていない。インターネットの閲覧にも制限が強くかかっている。全ての学習用パソコンには、音声読み上げソフトをインストールしているが、スペックが高くないため、動作が遅く、生徒も不便さを感じている。	タイピング練習等もフリーソフトをインストールし、生徒の技術向上を図る。様々なアプリケーションに触れる機会を増やし、パソコンスキルを向上させる。健全だが、制限のかかっていたWEBページを閲覧する。	ありがたいお話で感謝しています。出来ましたら、ウイルス対策ソフトがインストールされていれば、とてもありがたい。
高等部の職業学級では、生徒が情報の授業でノートパソコンを使用していたが、初期購入のものに不都合や故障が目立っていた。職員用のノートパソコンも不足しており、数人で1台といった部署もある。	学習用として、パソコン操作・インターネット検索等を、また職員用としては、会議資料、諸帳簿の作成等を想定している。	

(静岡県)

パソコンの状況	使用目的	その他
<p>パソコン室・各教室で利用するパソコンがある。2009年度に購入したパソコンもあり、使用できなくはないが、不都合が生じているものもある。職員が100人以上おり、研修等でもこれらのパソコンを利用しているが、台数が足りない状況である。</p>	<p>調べ学習等で児童・生徒が授業で利用する場合もある。児童・生徒に学習資料を提示するために教師が利用することもある。また、職員の研修で利用することもある。</p>	
<p>児童・生徒用には、デスクトップのパソコンがあるが、ノートパソコンは数台しかない。</p>	<p>児童・生徒用として使用したり、研修会等で使用したいと考えている。</p>	
<p>主に中学部・高等部の生徒が授業でタイピングの練習をしたり、調べ学習をしたりする時に使用している。</p>	<p>生徒が授業で使う。</p>	
<p>教職員は、一人一台パソコンを使用しているが、児童生徒用のパソコンは、パソコン室にあるもののみである。</p>	<p>各教室にパソコンを持っていき、大型テレビやプロジェクターで大きく映すことによって、児童生徒の興味・関心を高めたり、課題について分かりやすく説明したり、思考や理解を深めたりすることに使用したい。また、通訳用のパソコンが一台しかなく、ポルトガル語訳とタガログ語訳の2人が来校した際に、同時に作業ができるようにしたい。</p>	
<p>生徒は作業学習を中心にほぼ毎日パソコンを使用した授業を行っている。</p>	<p>生活単元学習を始め、作業学習、教科学習で調べ学習をして活用したり、画像を取り入れ文章を作成したりと用途は様々で多い。</p>	
<p></p>	<p>生徒用パソコンとして調べ学習、個々の課題学習に使用。教師が授業で写真や動画を提示するための教具として使用し、教材・教具を作成、準備するために使用。</p>	
<p>教材作成や教室に持って行き、主に授業で使うノートパソコンが不足している。</p>	<p>教材作成や教室に持って行って使うノートパソコンは不足している。また、このノートパソコンは学校に来る通訳やスクールカウンセラーと共用で使っているため、重なってしまうことがある。今回頂けるノートパソコンは、その不足分を補う目的で使用する予定。</p>	<p>学校の経営予算も限られているため、このような機会を設けて頂いてありがとうございます。</p>
<p>弱視生徒の視力でも見えやすいように、20インチ以上のモニター搭載一体型パソコンをパソコン室や教室でも使用している。また、ノートパソコンを外付けモニターや大型テレビと接続して、表示画面を大きくして使用している。</p>	<p>Windows10搭載パソコンは数が少なく、今後生徒が操作方法を覚えるために必要性が高いと感じており、今回寄贈して頂けるパソコンを活用したいと考えている。 生徒が見やすいよう、画面設定を調節して、文字入力練習や、操作方法の学習を中心に活用したい。</p>	